

短報

医学教育と宗教 —医学生は宗教についてどう考えているか—

獨協医科大学教育支援センター地域医療教育部門

橋本 充代

Key Words : 医学生, 宗教観, 医学教育, 死生観

はじめに

日本人は無宗教なのだろうか。孫ら(2021)は、1995年の地下鉄サリン事件から日本人には宗教に対する怖さが生まれてしまったが、2011年の東日本大震災から新たな転換期を迎えたと述べている¹⁾。一方、日本には初詣、お宮参り、地鎮祭といった神道、七五三、ひな祭り、お中元といった道教、お盆やお彼岸といった仏教、クリスマスやバレンタインといったキリスト教などの多種多様な宗教的儀式に寛容な国で、宗教の融合性が見られることが特徴的である^{2~5)}。また、日本人の信仰・信心については年齢層、および社会状況の変化が影響することも示されている⁴⁾。

2018年にNHK放送文化研究所が2,400人を対象に実施した調査では、何らかの宗教を信仰していると答えた人は36% (うち最多は仏教の31%)、信仰している宗教はない人は62%との報告がある。さらに、仏教を信じている人では年齢が上がるにつれて信仰する人が増えており、40歳未満で17%、60歳以上では40%以上だった⁶⁾。同様に、統計数理研究所の2013年の調査でも信仰をもっている人は20歳代13%、30・40歳代共に20%、50歳代27%、60歳代31%、70歳以上44%と、年齢に比例して増加していた^{7,8)}。

医学部に通う学生は、将来病气や死に直面するプロフェッショナルな職業に就くことになる。長寿超高齢社会のわが国ではターミナルケアのあり方が問われており、人生の最期に望む医療やケアについて患者本人や家

族、医師等が事前に話し合うアドバンス・ケア・プランニング(ACP)が医療現場で導入されている⁹⁾。このような状況の中で、医師は患者の意思を尊重するためにどう接し、理解し、思いやって接するのか。他者の価値観、死生観、宗教観と向き合うためには、医師本人の信念や人生観、宗教心といったものについて認識し、自覚する必要がある。

筆者は、令和元年(2019年)医学部第4学年を対象に、医学教育モデル・コア・カリキュラム平成28年度改訂版¹⁰⁾に基づいて医療人類学および医療社会学の講義を担当した。本講義の内容および講義後の学生アンケート結果については一部報告済であるが¹¹⁾、学生の自由記述欄の内容は未発表のため、医学生の宗教についての考えを知ることができる数少ない資料として紹介することとした。

方 法

対象者は、獨協医科大学医学部第4学年の必修科目「今日の医療倫理と福祉」13回目の講義に出席した学生、計132名(男子90名・68.2%、女子42名・31.8%)である。講義内容は、以前の通信に記載されている通りである¹¹⁾。

講義終了後に学習管理システム(dotCampus¹²⁾)を用いて、成績評価に加算される小テストとは無関係であることを明示して匿名かつ任意のアンケートを実施した。

アンケートの質問数は2問で、1問目の質問は「あなたは何か信仰や信心とかをもっていますか」、2問目は「講義への感想、要望等があれば書いてください」という自由回答形式とした。

結 果

4年生132名のうち、期日までに回答のあったのは125名(回答率=94.7%)であった。

令和6年3月14日受付、令和6年5月13日受理
別刷請求先：橋本充代

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880
獨協医科大学教育支援センター地域医療教育部門

再掲になるが¹¹⁾ アンケート1問目について、「もっている・信じている」学生は26人(20.8%),「もっていない・信じていない・関心がない」学生は99人(79.2%)だった。アンケート2問目について、宗教に関する記述があった者は55名(44.0%)であった。表1は、この55名の間1および問2の回答をまとめたものである(55名中、信仰をもっていると答えた者は10名, 18.2%)。自由回答欄に「医学・医療・治療・患者」のいずれかの単語が含まれていた者は20名(36.3%),「興味・関心」の単語が含まれていた者は16名(29.1%),「機会・きっかけ」の単語が含まれていた者は5名(9.1%)であった。また、9名(16.4%)が自分自身の宗教観について記述していた。

考 察

55名の自由回答形式の記述では、宗教について興味深かった、勉強になったという感想が多く、宗教を含めた講義内容への否定的な記述は見られなかった。医学と宗教の関連性に関する講義は本学では初めての試みであり、特定の宗教を信仰する学生がいる可能性を考慮して宗教に関する踏み込んだ質問は含めなかった。今回の回答結果から医学生特有の宗教観について論じるのは難しいが、実際に様々な患者と接する診療参加型臨床実習(クリニカルクラークシップ)後の5・6年生対象に同様の質問をすると新たな視点の回答が得られる可能性がある。並木(1992)は内科の卒業試験の中で医学部6年生123人に医学における宗教の位置づけについて聞いたところ、その回答は今回の結果と比較して生と死の問題、医学と宗教の関連について具体的な意見や考えを述べている学生が多かった¹³⁾。すなわち、医学生は講義よりも臨床現場を経験した後に宗教と医学の関連について意識する者が多く、患者と接することで己の死生観や宗教観を醸成していくものと考えられる。

わが国では世界の宗教について学ぶ機会が教育現場では限られているようであるが、グローバル化により人、物流、情報等の世界の一体化が進む中、50億人以上の世界の人々は何らかの宗教をもっており、無宗教の者はわずか10~13億人(約12~16%)と言われている^{14~16)}。このような世の中を生きる私達は、多様な文化的背景や宗教をもつ人々と接する機会が増加することから、世界の宗教について学ぶことは重要であろう。

問1の回答で信仰をもっている者は20.8%、もっていない者は79.2%となっていたが、これは大学生615名を対象とした第13次日本人の国民性調査の結果と近似している(もっている・23%、もっていない77%)⁷⁾。一方、並木(1992)によると医学部6年生123人中、宗

教あり12.2%、宗教なし87.8%であった¹³⁾。中島ら(2019)の調査では、医学部4年生99名のうち信仰宗教がある者は13.1%と報告されている¹⁷⁾。この2つの調査対象者の男女比は明示されていないことから本結果と単純に比較することはできないが、医学生の信仰の有無は一般集団のそれと大差はないと考えられる。

しかし、無宗教と自称する日本人には宗教的感性が培われてきている²⁾。前述した統計数理研究所の結果でも、宗教をもっていないと答えた人は全体では72%だったが、別の質問では「宗教にはかかわりなく『宗教的な心』というものを大切だと思う」人が66%を占めていたことから推察できる⁷⁾。すなわち、日本人は宗教をもっていない人が多いが、宗教心を大切に考える価値観を持つ人が多いと言える。

特に医学に携わる者にとって、宗教について考えることは近代医療を進める上でも極めて重要である¹⁸⁾。医学の進歩に伴い、不妊治療、死後生殖、非配偶者間人工授精といった生殖医療の分野での判断基準、子ども、妊娠に関する観点は宗教に基づくところが大きい²⁾。また、ドナーの死を前提とする臓器移植が世界の国々と比較して日本で極めて少ないのは、遺体や遺骨に対する日本人独特の民族性や宗教観が影響していると指摘されている^{18,19)}。

死生観についても同様で、死後の世界(来世があるのか、ないのか)は3大宗教でも異なることが報告されている⁴⁾。李(2011)は日本と台湾のホスピス病棟で働く医療者にアンケートを行ったところ、患者への精神的な支えとして宗教は必要と答えた者は日本32.5%、台湾63.4%と有意差が認められた²⁰⁾。仏教徒が多い同アジア国内でもこのような差異が見られることは興味深い。宗教の有無によって死生観が異なることはその他の先行研究でも明らかにされており^{21~23)}、終末期医療を選択する患者の宗教観は死に対する不安や恐怖、この世との別離、生への渴望感を左右する。患者の看取りに立ち会う医療関係者は、患者のみならず自身の宗教観や死生観を構築しておくべきである。

日本では病院への宗教の介入は限られているが、医療現場での宗教者の活動を紹介する。2011年の東日本大震災の後、地元の宗教者達は被災者や遺族の方々へ様々な支援活動を行った。その中で宗教・宗派を超えた宗教的な支援を体系化した心のケアの専門家として、臨床宗教師、臨床スピリチュアルケア師という認定資格制度が発足した。天災に限らず終末期、在宅医療、介護等のあらゆる臨床の場において、主に死とグリーフに関する精神的な支援を提供する専門家の活躍が今後期待されている^{24,25)}。

表1 アンケートの回答内容 (n=55)

問1: 信仰や信心と かをもっていますか	問2: 講義への感想, 要望等があれば書いてください
もっている	私は幼稚園がキリスト教, 中学高校が仏教だったので, 色々な宗教と触れ合ってきました. なので, 医学的な観点で宗教をみる事が出来て新しい視点から今まで経験してきた宗教がみれて良かったです.
もっている	これまで, 日本の宗教に関しては他の講義で触れられたことがあったのですが, 他の宗教に関してここまで詳しく学んだことはありませんでした. 良い機会になったと思います. ありがとうございます.
もっている	今後医師として患者を見ていく中で, 宗教は必ず出てくると思う. 患者が何を大事にしているかを知ることが治療方針にも関わってくることであるので, コミュニケーションを大事にしていきたい.
もっている	医学部の授業で宗教の話が聴けるとは思ってもみなかったので, 宗教好きな私としてはとても良い授業だった.
もっている	他国と比較した日本の宗教性を知ることができ, とても興味深かった.
もっている	自分の宗教観や日本人全体としての宗教観などとても興味深かった.
もっている	キリスト教信者として興味深かった.
もっている	医療者として宗教の知識は重要だとわかった.
もっている	神道がないのが不思議
もっている	神のみこころのままに
もっていない	問1についてだが, 持っているか持っていないか断言することが難しい. 信仰深くある神を信じているわけではないが, アニミズムにはなんとなく信仰があるように感じる. とても日本的な宗教観であると思う. 日本の宗教観, 宗教思想には非常に関心を持った. こう言った授業を受けられるのは嬉しい.
もっていない	自分は宗教を持っておらず, 宗教と医学の関連性について今まで考えたことがありませんでした. 今回の講義で医療に宗教がかかわっていることを知ることができたので, 関心を持つと思いました. 自分で学ぶことが1番ではあると思いますが, カリキュラムで宗教のことを学ぶ機会がもう少しあると良いとは思いました.
もっていない	宗教には昔から関心があるため, 授業の内容は興味深かったです. 何かの宗教を信じたい気持ちは昔からあるのですが, 自分の考えや理想と一致する宗教になかなか出会えておらず, 依然として無宗教なままです. 救いを求めて盲目的に信仰したくなるほど辛い状況に陥ったことがないからかもしれませんが...
もっていない	特定の宗教は持っていませんが, 各宗教から学ぶべきことがあると常に思っていて, 個人的にちょくちょく調べています. 講義はとてもしっかり準備されていることが感じられ, 興味深く聞かせていただきました(途中少し寝てしまいましたが). ありがとうございます.
もっていない	私の家には神棚がありましたが, 幼稚園はキリスト教でした. また, いとこの家や祖父母の家には仏壇があり, 訪問した際は手を合わせます. 家族ぐるみで, お正月やクリスマスを楽しんで過ごします. 沢山の宗教に囲まれていることを, 今まであまり意識していませんでしたが, 改めて考えることができたと思います.
もっていない	わたしは特に宗教を持っていないが, 辛いときに漠然とした対象への神頼みをするにはある. しっかりとした信仰を持つ人を治療する際にはきちんと勉強してからしなければならないと思う.
もっていない	私自身信仰をもっているわけではないが, 患者の信仰は最大限尊重しなければならない. そのためには勉強が必要であると強く感じた.
もっていない	特定の宗教を信仰しているわけではないが, 宗教の教義が人の支えとなることも十分理解できる.
もっていない	信仰は持っていないが天命や理屈では説明できない繋がりなどは大切にしている.
もっていない	私は, 宗教についての授業をほとんど受けたことが無かったためとても新鮮だった. 宗教と医療の関わりについて話されており, 非常に納得のいく授業だった.
もっていない	今回の授業を通して医学と宗教についてさらに学びたいと思った.

表1 アンケートの回答内容 (n=55) (つづき)

問1: 信仰や信心とかをもっていますか	問2: 講義への感想, 要望等があれば書いてください
もっていない	とても興味のある話で, いろんな宗教のことをもっと知りたいと思った.
もっていない	とても興味深い講義でした. 患者さんを理解する上での1つの手がかりになると思うので今後も勉強したいと思います.
もっていない	とても興味深かったです. 現代の医療現場に影響を及ぼしている宗教(エホバの証人など)の具体的な話なども聴きたいと思いました. 難しいかもしれませんが...
もっていない	宗教観など興味深い内容でした.
もっていない	高校で世界史をやっておらず, 宗教に対しては疎かったので, 少し興味深い内容だった.
もっていない	医療への宗教的な影響が興味深いな, と思いました.
もっていない	信仰などもっていないが, 高校がキリスト教の高校だったので関心がない訳ではないです. 他の宗教についても知れたので良かったです.
もっていない	宗教について, 理解と関心か深まった.
もっていない	無宗教なので, 様々な宗教に興味を持った.
もっていない	普段宗教について考える機会がなかったので, 非常に勉強になりました.
もっていない	よくわからなかった宗教について学習でき良かった.
もっていない	宗教について考える機会が普段なかったので, 良い機会になりました.
もっていない	宗教について学ぶいい機会になった.
もっていない	とてもいい講義だったと思います. 宗教について考え方に幅が広がりました.
もっていない	宗教と医学の関係をしっかり考えるきっかけになったのでよかったです.
もっていない	国教のない日本で育った自分にとって, 時として宗教的倫理観が人命より優先されることに疑問を感じざるを得ないが, 異なる文化の存在を理解することが重要と感じた.
もっていない	宗教について理解することも大切であると学んだ.
もっていない	医療を行う上で患者さんの新興宗教を背景として考えなければいけない場合もあると知った.
もっていない	宗教と医学の関わりについてよくわかった.
もっていない	宗教と医療がよくわかった.
もっていない	宗教無しに医学の発展は有り得ない背景があったと学んだ.
もっていない	宗教と医療の関係について学べた.
もっていない	宗教と医学の関わりなどが少しわかった. 前半の宗教の話が長かったように感じた.
もっていない	宗教間の対立などがどうして起こってしまうかいつも疑問に思っており, その理解の助けになりました.
もっていない	宗教と医療の関係について考えさせられた.
もっていない	医療と宗教とのつながりがみえた.
もっていない	様々な宗教について改めて学ぶことができた.
もっていない	さまざまな宗教があり, 信仰の自由は必要だと思った.
もっていない	宗教は色々あると思った.
もっていない	宗教について, 教養的な知識を持っていることは大事であると考えて.
もっていない	宗教について非常に難しい問題だと思いました.
もっていない	それぞれの宗教の動画などがあれば見てみたかったです.
もっていない	世界の宗教に属している人数の多さに驚いた.
もっていない	日本は無宗教の国と思っていたが, 2割程度あることに驚いた.

一方、欧米では宗教施設に属さない聖職者をチャプレンと呼び、病院、ホスピス、刑務所、警察・消防、軍等の現場で心のケアを提供している。台湾では臨床仏教宗教教師という専門家が存在し、終末期患者とその家族へのスピリチュアルケアを行う²⁶⁾。わが国では仏教チャプレンとして医療や福祉の現場で活動するビハラー僧がいるが、多くの日本人は仏教を死と結びつける風潮があることから、宗教者が臨床現場へ入るのはまだ数少ないのが現状である^{1,27)}。

本通信では、私立医科大学医学部第4学年生の宗教観に関するアンケート結果を紹介した。将来医師として患者の死と向き合う医学生は、他者の多様な価値観や社会的背景、精神的な支援への柔軟な対応能力が求められることから、自分自身の宗教観、死生観、信念等について日頃から向き合い考えるべきである。

謝 辞 本アンケートにご協力いただいた令和元年度獨協医科大学医学部4年生に感謝いたします。

本通信の一部は、第88回日本健康学会総会で発表したものである²⁸⁾。

なお、本調査に関連して開示すべき利益相反はない。

文 献

- 孫大輔, 森田敬史: 臨床と宗教 死に臨む患者に私ができること (第2回) 現代の宗教観と臨床宗教師のあり方. 治療 **103**: 372-376, 2021.
- 金子昭: 生殖倫理の現況と展望 (Vol.11) 日本人の宗教観と生殖医療. 医学のあゆみ **263**: 977-980, 2017.
- 細川豊史: 日本人の死生観と宗教観~Shall the next world be present?~. Palliative Care Research **11** suppl.: S104, 2016.
- 的場恒孝: 医療者として宗教観・死生観を知り考える. 久留米医学会雑誌 **78**: 7-19, 2015.
- 前田貞亮: 特集 透析の導入・継続・中止 III 透析の中止 (1) 日本人の宗教観, 尊厳死, 高齢者の死生観. 臨床透析 **14**: 1315-1324, 1998.
- 小林利行: 日本人の宗教的意識や行動はどう変わったか~ISSP 国際比較調査「宗教」・日本の結果から~. 放送研究と調査 April: 52-72, 2019.
- 統計数理研究所: 日本人の国民性調査 (第13次 2013年). https://www.ism.ac.jp/kokuminsei/table/data/html/ss3/3_1/3_1_20132.htm (2024年3月14日閲覧)
- 林文: 宗教と素朴な宗教的感情. 行動計量学 **33**: 13-24, 2006.
- 日本医師会: 終末期医療 アドバンス・ケア・プランニング (ACP) から考える. <https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10901000-Kenkoukyoku-Soumuka/0000202654.pdf> (2024年3月14日閲覧)
- モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会, モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門研究委員会: 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版.
- 橋本充代, 西山緑: 医学生の宗教観と講義に関する考察—医学部第4学年講義への「宗教・医療社会学・医療人類学」導入の試み—. Dokkyo Journal of Medical Sciences **47**: 153-155, 2020.
- インターレクト株式会社: dotCampus ホームページ. <http://dotcampus.jp/> (2024年3月14日閲覧)
- 並木正義: 医学教育と宗教. 医学と宗教. 辻井正 (編), 東洋書店, 東京, pp15-35, 1992.
- 東京基督教大学国際宣教センター日本宣教リサーチ: JMR 調査レポート (2018年度).
- World Population Review: Religion by country 2024. <https://worldpopulationreview.com/countryrankings/religion-by-country> (2024年3月14日閲覧)
- Pew Research Center: The changing global religious landscape. Babies born to Muslims will begin to outnumber Christian births by 2035; people with no religion face a birth dearth. April 5, 2017. <https://www.pewresearch.org/religion/2017/04/05/the-changing-global-religious-landscape/> (2024年3月14日閲覧)
- 中島豪, 近藤侑鈴, 中島マリア美知子, 他: 医学部学生の死生観や価値観に与える影響についての検討. Palliative Care Research **14** suppl.: S274, 2019.
- 村上瑛一: 日本人の宗教観と臓器移植. 日本医事新報 **3618**: 63-66, 1993.
- 井原彰一: 4. 肺移植をめぐる社会的課題 (3) わが国における宗教観と移植. 日本胸部疾患学会雑誌 **31** 増刊: 90-95, 1993.
- 李惠英: 緩和医療における心のケアに関する医療関係者の意識調査—日本と台湾の比較—. 医学と生物學 **155**: 351-363, 2011.
- 小泉普一: 大学生の信仰する宗教と死生観との関連. 日本性格心理学会発表論文集 **9**: 64-65, 2000.
- 後藤真澄, 森田直子, 片桐史恵, 他: 韓国・日本における高齢者の終末期ケアのあり方と今後の方向性~介護保険関連施設・事業所の職員調査から~. 社会医学研究 **31**: 151-158, 2014.
- 大野知代: ドイツの看護師の死生観に関する研究. 大和大学研究紀要 (保健医療学部編) **3**: 55-63, 2017.
- 孫大輔, 森田敬史: 臨床と宗教 死に臨む患者に私ができること (第2回) 現代の宗教観と臨床宗教師のあり方. 治療 **103**: 372-376, 2021.

- きること（第1回）臨床宗教師の誕生. 治療 **103** : 230-233, 2021.
- 25) 一般社団法人日本スピリチュアルケア学会：資格認定.
<https://www.spiritualcare.jp/qual/> (2024年3月14日閲覧)
- 26) 方東岳：宗教者によるスピリチュアルケアの制度と実態—台湾の臨床仏教宗教師と日本の臨床宗教師の比較を通して—. 東北宗教学 **16** : 101-129, 2020.
- 27) 森田敬史：特集論文 ビハーラ僧の実際. 人間福祉学研究 **3** : 19-30, 2010.
- 28) 橋本充代, 西山緑：医学教育と宗教—医学生はどう考えているか—. 日本健康学会誌 **89** (付録) : 92-93, 2023.